

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

浜松市長 中野 祐介

市町村名 (市町村コード)	浜松市 (22130)
地域名 (地域内農業集落名)	芳川・飯田地区 (別紙のとおり)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和5年11月30日 (第2回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

・畑地と水田と集落地が混在地域。特に安間川以西は国道1号線や市街地に接しているため開発圧が強く市街地化している。安間川以东は大規模担い手による露地畑作(ブロッコリー等)による利用が進んでいる。  
 ・水稻の担い手の撤退により水田の荒廃化が進んでいる。  
 ・露地畑作の大規模担い手の拡大、進出の意向はあるが、水田と畑地の混在により、まとまった耕作地確保が難しい。

#### 【地域の基礎データ(R5.1担い手アンケート)】

・担い手農業者11名(69歳以下又は70歳以上後継者あり11名、70歳以上後継者なし0名)  
 ・主な営農類型:水稻作1名、露地畑作5名、ハウス畑作5名、露地果樹0名、ハウス果樹0名、茶0名、花木0名、畜産0名、その他0名

### (2) 地域における農業の将来の在り方

・農協や大規模担い手により形成された作物産地の維持・発展を図る。(ブロッコリー等)  
 ・担い手間調整を進め、作物ごとの団地化により、作物混在を解消し、各々の耕作作業の効率化と農薬ドリフトなどの混在問題の解決を図る。まとまったほ場の確保により、将来的なドローン利用や作業の自動化などスマート農業の導入の可能性を高める。  
 ・リタイア時の耕作地やハウス等の農業施設の引継ぎ方法の確立、地域への周知浸透を図る。  
 ・担い手耕作地の集約化に支障となっている荒廃農地の再生利用を図る。  
 ・集積利用できない水田は雨水貯留機能を維持しながら、水田の畑地利用を図り、畑作の団地化を図る。

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	249.1 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	249.1 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

・農振農用地区域内の農地(青地農地)とする。ただし流動性の低い営農型太陽光発電下部農地は除く。  
・当初設定においては第91回農用地区域の変更(令和7年2月)に係る農地は除く。(このため上記(1)の面積は今後の変更あり。第91回農用地区域の変更分の確定後に面積確定する。)

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
・農業委員会(農業委員・推進委員)の農地利用最適化活動や農協、土地改良区による農地集積事業(定期的な貸出農地募集→利用調整の事業)により、担い手を中心に農地中間管理事業を活用した農地の利用集積を進める。集団農地では耕作地の集団化(集約化)のための耕作地交換を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
・農地中間管理事業の農地利用の交換・集約機能を活用するため、まずは農地中間管理機構への貸付の拡大を図る。その後、農地中間管理事業の農地利用の交換・集約機能を活用し、担い手リタイア時の耕作地の適切な継承や、担い手個々の耕作地の段階的な集約化(集団化)を図る。
(3)基盤整備事業への取組方針
・担い手のニーズや地域の課題等を踏まえ、必要な基盤整備事業を進める。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
・現存の担い手による農地利用を優先しつつ、必要に応じて地域外から多様な経営体を募り、担い手として育成していく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
・地域の作業をまとめて実施することにより効率化が期待できる農作業については、担い手への作業委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

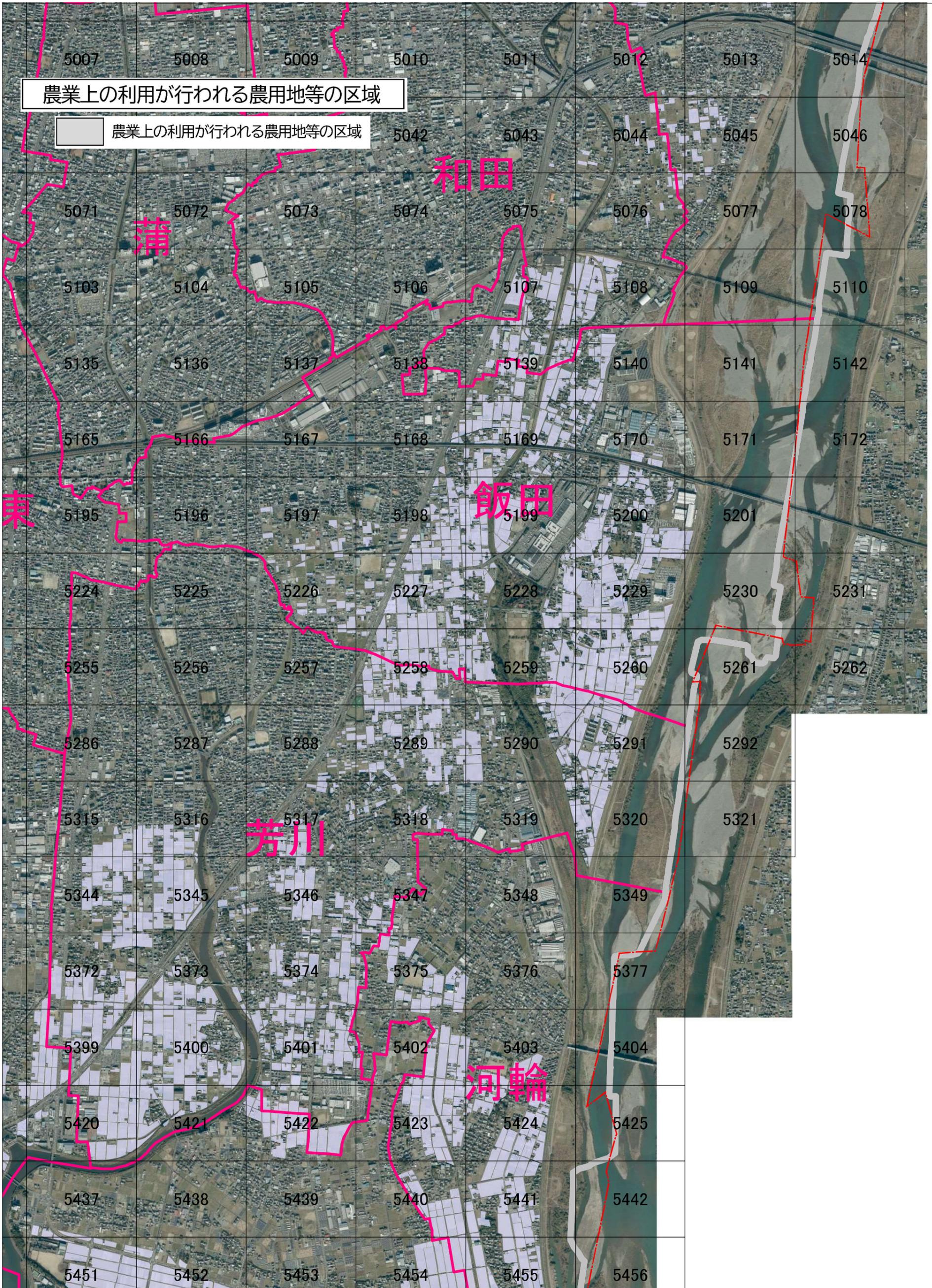
<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input checked="" type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ④放棄水田における畑地化利用の研究(畑地エリア内に点在する水田から実施)  
 ⑦地域環境保全活動(多面的機能支払)…恩地環境みどり会、大塚愛郷会

(別紙)

地域計画の地区	地区	農業集落名
芳川・飯田	芳川	芳川村・石原
芳川・飯田	芳川	芳川村・安松
芳川・飯田	芳川	芳川村・大橋
芳川・飯田	芳川	芳川村・恩地
芳川・飯田	芳川	芳川村・西恩地
芳川・飯田	芳川	芳川村・大柳
芳川・飯田	芳川	芳川村・鼠野
芳川・飯田	芳川	芳川村・御給
芳川・飯田	芳川	芳川村・江川
芳川・飯田	芳川	芳川村・下中島
芳川・飯田	芳川	芳川村・下前島
芳川・飯田	芳川	芳川村・四本松
芳川・飯田	芳川	芳川村・立野
芳川・飯田	芳川	芳川村・古川
芳川・飯田	芳川	芳川村・金折
芳川・飯田	芳川	芳川村・東金折
芳川・飯田	芳川	芳川村・老間
芳川・飯田	飯田	飯田村2-1・西組
芳川・飯田	飯田	飯田村2-1・開戸
芳川・飯田	飯田	飯田村2-1・田畑
芳川・飯田	飯田	飯田村2-1・新田
芳川・飯田	飯田	飯田村2-1・下飯田
芳川・飯田	飯田	飯田村2-1・大塚
芳川・飯田	飯田	飯田村2-1・新貝
芳川・飯田	飯田	飯田村2-1・鶴見東
芳川・飯田	飯田	飯田村2-1・鶴見西
芳川・飯田	飯田	飯田村2-1・青屋
芳川・飯田	飯田	飯田村2-1・小松方
芳川・飯田	飯田	飯田村2-1・西之郷



農業上の利用が行われる農用地等の区域

農業上の利用が行われる農用地等の区域

和田

蒲

飯田

芳川

河輪

本図面は境界等の権利調整・確認には使えません

# 地域計画の地域の話合いの進め方

## ○参加メンバー

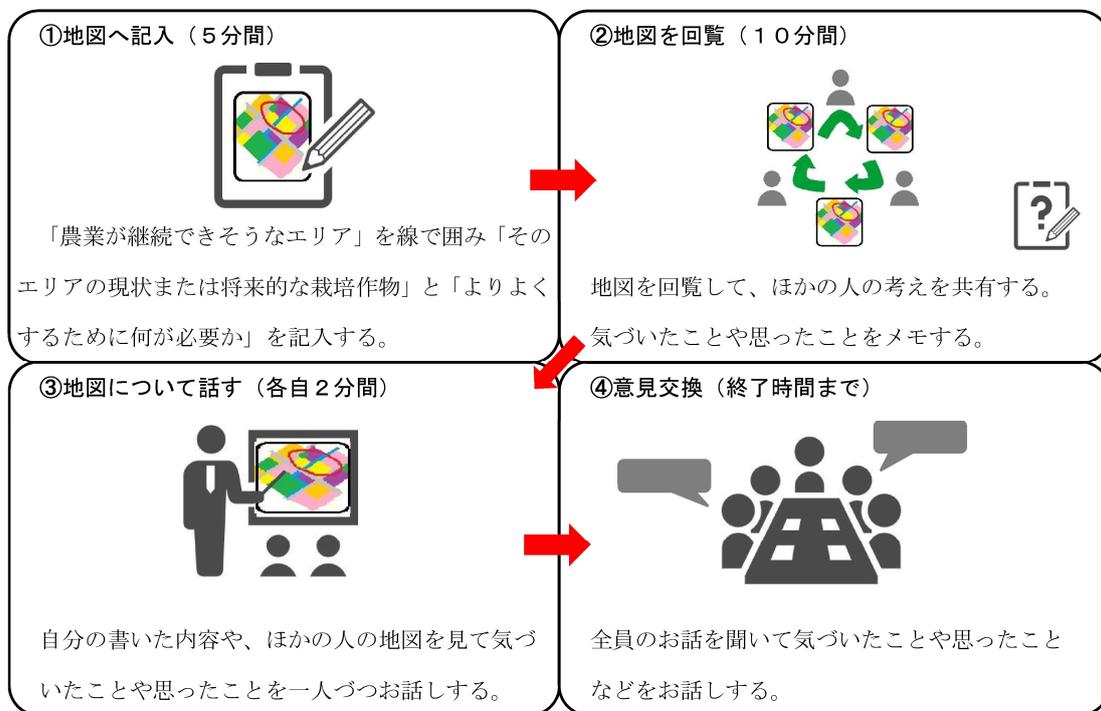
### 農業を行う側

- ・浜松市認定農業者協議会の役員
- ・地区内の農業者
- ・農協の産地作物部会の役員
- ・農協職員(地区営農支援担当)

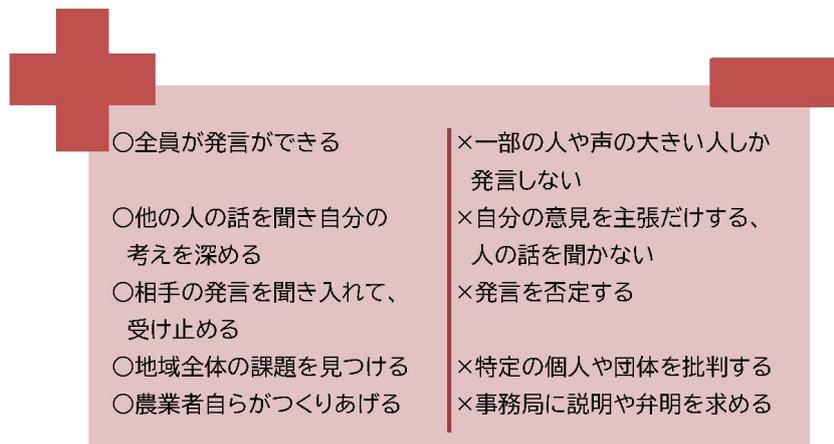
### 農業のサポート側

- ・農業委員、推進委員
- ・土地改良区、水利組合の役員
- ・中間管理機構(県公社)の職員
- ・県、市の職員

## ○話合いの進め方



## ○話合いのルール



地区	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
河輪・五島・白脇	米作全体に貸し出し	
芳川・飯田	農地の維持のために、外から人を呼ぶなどする必要がある	
芳川・飯田	担い手に集約しないと、農地が荒廃してしまう	
芳川・飯田	水田エリア、畑エリアと分ければ耕作しやすくなる	
芳川・飯田	担い手不足、特に田んぼの担い手がない	
芳川・飯田	水田のある地域を整備していくことで好循環が生まれる	
芳川・飯田	田んぼが限界なら畑化も必要	
芳川・飯田	大規模な農家が認定農家になっていない	
芳川・飯田	宅地が進んでいる地域がある	
芳川・飯田	古川、飯田はパイプラインが出来ていない	
芳川・飯田	貸すと農地が荒れると考える方に、良い利用例を提示できれば良い	
芳川・飯田	水稲、水田の担い手不足が問題 利用の可能性は感じている	
芳川・飯田	土地改良の存続危機 役員年齢が上がっている	
芳川・飯田	丸つける地域はほぼ同じ 色がついている所	
芳川・飯田	大口の農家に手をかけてもらいたい	
芳川・飯田	農地の集約、交換が難しい	
芳川・飯田	古川町近辺に丸で囲われる場所がない	
芳川・飯田	放棄地の解消が進んでいる	
芳川・飯田	異常気象は今後も続いていく	
芳川・飯田	担い手が少ない点にびびりした	
芳川・飯田	自作地の5~10年後どうするか検討必要	
芳川・飯田	農地を貸す安心感があれば貸したい	
芳川・飯田	後継者が農業やらずに放っておかれた農地を自分で耕した	
芳川・飯田	良い野菜を作っても高い値段で売れない現状	
芳川・飯田	地主から田んぼをやって欲しいという話はよくある	
芳川・飯田	田を畑にする時の補助金があれば使いたい	
芳川・飯田	水稲担い手募集 畑担い手募集	
芳川・飯田	畑地利用 水田草の管理	
芳川・飯田	宅地が多い 田の荒地が少ない	
芳川・飯田	担い手の数が少ない 外部から入って来てもらうことも考えてみては	
芳川・飯田	水田の畑地利用の可能性を追求してはどうか	
芳川・飯田	集約が必要 田・畑が混在 放棄地の解消	
芳川・飯田	担い手の集約が必要	
芳川・飯田	土地改良区の存続 担い手の確保が必要	
芳川・飯田	市街地化が進まないよう注意	
芳川・飯田	下飯田、芳川地区は田畑が混在 大塚は放棄地多い	
芳川・飯田	大柳、鼠野の水田一部水が来ない 大柳、鼠野、飯田、石原、古川→水ポンプ	
芳川・飯田	担い手の件数が全体として少ない(契約数少ない)	
芳川・飯田	水稲の担い手不足	
芳川・飯田	土地改良区の存続危機	

地区	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
芳川・飯田	大塚、新貝の放棄地解消	
芳川・飯田	水田、畑地利用	
芳川・飯田	水稲貸借をするについて草が多い所は嫌がる(集約)	
芳川・飯田	大口耕作者の水稲管理が出来ていない(草が多い)	
芳川・飯田	現状、満足の得られる仕事が出来ているとは思わない	
芳川・飯田	今年の気候変動、高温化には参った	
芳川・飯田	現状の作物を中心に継続すべき	
芳川・飯田	市場西側囲んでないのはなぜ?	
芳川・飯田	大方囲んである所はOKか	
芳川・飯田	バイパスの右側、芳川、古川近辺は囲いが無いのはなぜか	
芳川・飯田	市街化、担い手の確保は必須	
芳川・飯田	放棄地の解消はいろいろ方法が出てきたよう	
芳川・飯田	宅地が多い 水利少ない	
芳川・飯田	水田、畑の担い手募集、重点は?	
芳川・飯田	残すところ、そうでない所の選別、優先順位	
芳川・飯田	担い手、1経営体当たりどこまでできるか	
芳川・飯田	水田の畑地化	
芳川・飯田	担い手の耕作地が少なく、圧倒的に自作地が多い	
芳川・飯田	今後、耕作できなくなった時にどうするのか?	
芳川・飯田	担い手への集積・集約が必要だと思う	
芳川・飯田	耕作放棄地の解消(大塚町)	
芳川・飯田	水田と畑地利用地域が分けけると理想的	
芳川・飯田	水田の畑地利用も検討	
芳川・飯田	水利の改善(パイプライン) 排水対策 担い手の確保	
芳川・飯田	土地改良区の存続 市街地が進まないように	
芳川・飯田	担い手確保は共通の課題	
芳川・飯田	荒廃農地に対する対策は行政を含めて考えなくては	
芳川・飯田	市街地化が進んでいる地区での農業は条件的に厳しい	
芳川・飯田	給水施設が整備されている地区は担い手も多く、今後も期待できる(地元組織もしっかりしている)	

# 農地利用図(芳川・飯田)

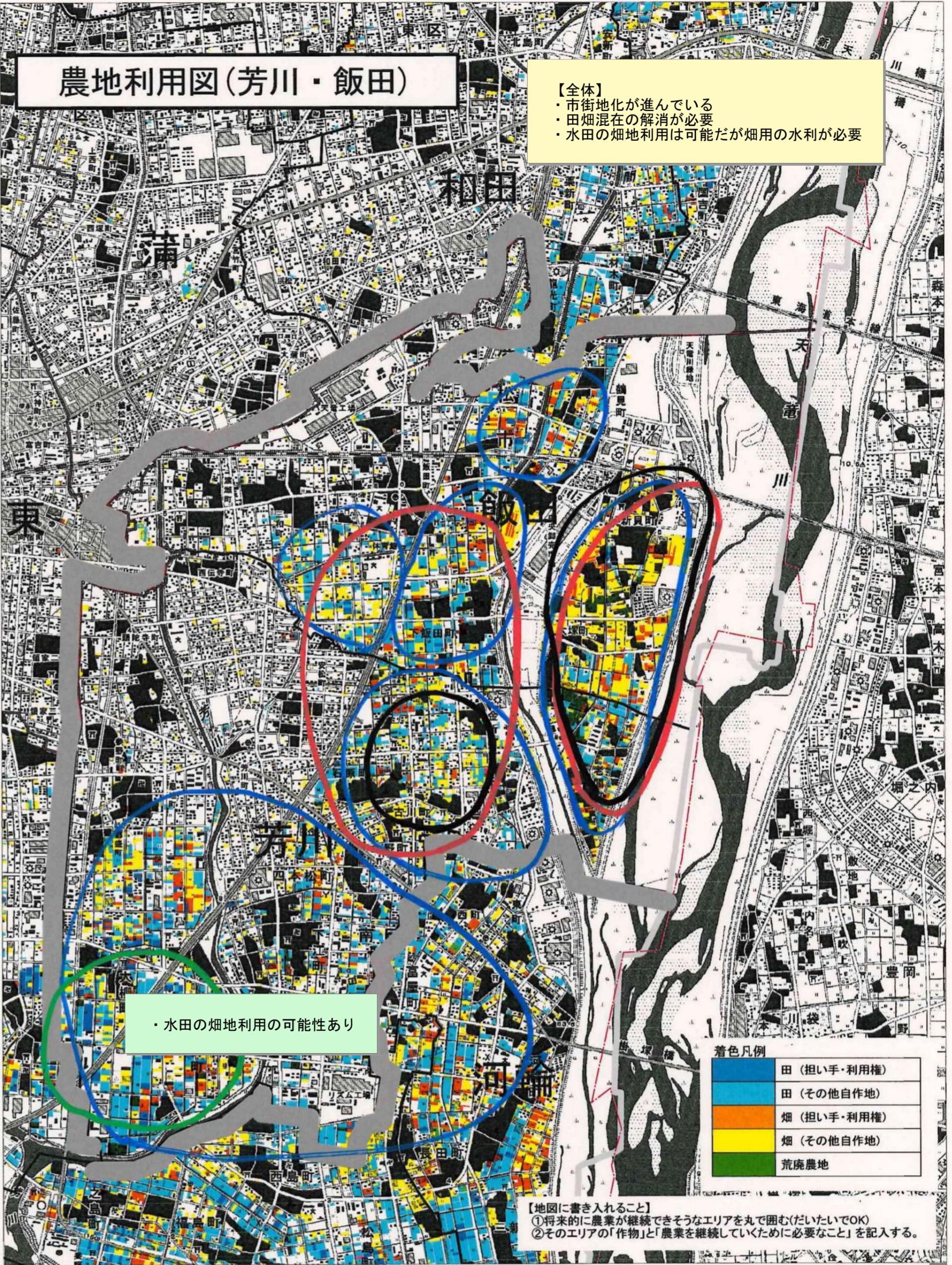
【全体】  
 ・市街地化が進んでいる  
 ・田畑混在の解消が必要  
 ・水田の畑地利用は可能だが畑用の水利が必要

・水田の畑地利用の可能性あり

着色凡例

	田(担い手・利用権)
	田(その他自作地)
	畑(担い手・利用権)
	畑(その他自作地)
	荒廃農地

【地図に書き入れること】  
 ①将来的に農業が継続できそうなエリアを丸で囲む(だいたいOK)  
 ②そのエリアの「作物」と「農業を継続していくために必要なこと」を記入する。



本図面は著作権等の権利調整・確認には使えません  
 浜松市農地WebGISシステム

【出力者】08719  
 1:10000